

事務事業実績測定調査

事務事業名称	避難行動要支援者名簿作成・管理事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	災害対策基本法、避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	災害時に自力で避難することが困難な市民(要介護3~5の認定者、身体障害者手帳1・2級の交付を受けている者等)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害時に自力で避難することが困難なため、支援が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害により避難が必要な場合に、地域住民や行政から迅速な支援が受けられる。				
事業概要	平成25年に災害対策基本法が改正されたことを受け国から示された「避難行動要支援者の避難行動支援に関する取組指針」により、市町村に「避難行動要支援者名簿」の策定が義務付けられた。高齢者、障害者(児)等のうち、災害が発生、または災害が発生する恐れがある場合に、自ら避難することが困難な人であって、円滑かつ迅速な避難のために、特に支援を要する人(避難行動要支援者)の氏名、居所、連絡先等の情報を事前に登録する名簿を作成するとともに、当該名簿を民生委員や自主防災組織等(避難支援等関係者)に配付し、災害時の避難支援体制づくりに役立てるものである。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	災害時の避難に支援が必要な市民の不安が解消される。	避難行動要支援者に係る情報を、地域住民や行政が共有できる。	避難行動要支援者名簿を作成・管理する。	
指標設定	指標説明	名簿掲載人数	名簿の配布先の数 【配布先:①枚方・交野警察署②枚方寝屋川消防組合③枚方市社会福祉協議会④民生委員・児童委員⑤自主防災組織】	名簿の更新頻度
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値			
	目標(見込み)			
	実績	12,226	61	1
	達成度			100%
分析	想定通りであった。	想定通りであった。	想定通りであった。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.24
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.16
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	1,924	1,914	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	1,924	1,914	
	物件費計	—	614	5,077	5,720	89%
	歳出計	—	2,538	6,991		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	22,700	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	22,700	0	0	
	一般財源	—	▲ 20,162	5,077	5,720	

5. 総括的分析

総括的分析	避難行動要支援者の氏名、居所、連絡先等の情報を事前に登録する名簿を作成するとともに、当該名簿を民生委員や自主防災組織等(避難支援等関係者)に配布し、災害時の避難支援体制づくりに役立た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	避難行動要支援者名簿を作成し、当該名簿を民生委員や自主防災組織等(避難支援等関係者)に配布し、今後も引き続き災害時の避難支援体制づくりに役立てる。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合福祉センター維持管理事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標		5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	1976(S51)年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	枚方市総合福祉センター条例及び同施行規則						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	総合福祉センター利用者					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	総合福祉センターの利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	総合福祉センター利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。						
---------------------------	---	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>名称 : 枚方市総合福祉センター 所在地: 枚方市津田東町2丁目26番1号(老人福祉センター) 、枚方市中宮山戸町12番15号(老人作業所) 開設年月: 昭和51年4月24日(老人作業所は昭和53年4月1日) 送迎バス: 枚方市駅等からセンターまで無料運行。決められた停留所で乗車可能。</p> <p>施設内容 老人福祉センター: 大広間、和室(3室)、会議室(5室)、浴室、足湯、調理室、対局室、機能回復訓練室、講座室、ビリヤード室、茶室、バンパー場、体育室、グラウンド 老人作業所(1室)</p> <p>事業内容 老人の生きがいと健康増進及び市民各層との交流を図るため以下の事業を実施している。 1. 部屋、体育室の貸し出し、2. グラウンドゴルフ講習会・料理教室など世代間交流事業、3. 老人趣味の講座・老人いきいき講座 4. 機関誌の発行、5. 健康・生活相談、6. 風呂、7. 送迎バス運行等</p>						
------	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					総合福祉センターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標値 (見込み)				100以内 100以内 100以内 100以内				34 34 34 34			
	実績				4.74				31			
達成度				195%				109%				
分析				令和2年度は多額の修繕料が必要となるような故障等は発生しなかったため、低い数値となった。				概ね想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,771	6,414	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,771	6,414	3,190		
	物件費計	93,801	94,380	92,408	93,161	99%	
	歳出計	98,572	100,794	95,598			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	3,682	2,608	4,086		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	67	595	755		
	歳入計	0	3,749	3,203	4,841		
一般財源		98,572	97,045	89,205	88,320		

5. 総括的分析

総括的分析 30万円を超える修繕が必要となるような事項が令和2年度は1件も発生せず以前に災害被害による修繕のみとなった。30万円以内の修繕については、指定管理者が行った。(令和2年度から指定管理料のうち年間120万円を修繕費とし、使わなかった分については精算し返してもらうことになっている)
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月20日～5月19日は休所、4月1日～6月14日及び12月7日～2月28日は貸室利用を中止、グラウンドについては、4月1日～5月31日及び12月7日～2月28日に利用を中止した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き利用者が安心して施設を利用出来るよう、保守点検や必要な修繕、補修工事を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	高齢者・障害者施設等入所時PCR検査事業(長寿・介護保険担当)											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち										
	実行計画名	7-1.感染症対策の推進										
1. 事務事業の概要												
種類	市民サービス			特性	選択的事業			区分	一般事務事業			
事業期間	2020(R2)年度			年度	~	2020(R2)年度			年度まで			
根拠法令等	疾病予防対策事業費等補助金交付要綱等											
関係補助金名称	疾病予防対策事業費等補助金							サンセット		~		
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	新規に高齢者・障害者施設等に入所する高齢者又は基礎疾患を有する市民										
	サブターゲット	既高齢者・障害者施設入所者										
	ターゲットが抱える課題	施設入所するに際し、自身が新型コロナウイルスに感染しており、他の入所者に感染してしまうことが心配。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	安心して施設に入所できるとともに、施設のクラスター発生を抑制できる。											
事業概要	<p>新規に高齢者・障害者施設等に入所する高齢者又は基礎疾患を有する市民のうち、PCR検査を希望される方を対象に唾液自己採取によるPCR検査を実施する。</p> <p>[実施期間] 1月～3月</p> <p>[検査方法] PCR検査(唾液採取)</p> <p>[本人負担] なし</p> <p>[対象者] 高齢者施設等新規入所者(65歳以上又は基礎疾患有病者:枚方市民)</p> <p>新規の施設入所者、居住系サービス利用者 見込み人数:600人/3月 (市内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、老人保健施設、軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム)</p> <p>障害者施設等新規入所者(基礎疾患有病者:枚方市民)</p> <p>新規の施設入所者、居住系サービス利用者 見込み人数:60人/3月 (市内の障害者支援施設、療養介護施設、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム)</p> <p>※基礎疾患:慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患等</p>											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	受検者が安心して入所できるとともに、施設のクラスター発生を抑制できる。	対象者のうち、希望者がPCR検査を受ける。	高齢者・障害者施設等新規入所者(高齢者又は基礎疾患有病者)のうち希望者にPCR検査を実施する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	検査結果陰性率	検査結果通知率	PCR検査受検者数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 人
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	100	100	660
達成度	100%	100%	7%	
分析	想定通りであった。	想定通りであった。	2月12日からは大阪府の検査事業も始まり、想定より大幅に少なくなった。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.17
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	798	
	物件費計	—	—	691	9,539	7%
	歳出計	—	—	1,489		
歳入	国庫支出金	—	—	5,022	5,022	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	5,022	5,022	
	一般財源	—	—	▲ 4,331	4,517	

5. 総括的分析

総括的分析	実績 高齢者施設:45件 障害者施設:なし 2月10日に大阪府より通知があり、2月12日より高齢者施設等への新規入所者における入所時の検査は医師が必要と認める場合、行政検査として取り扱うこととなった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	令和2年度のみの実施。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護認定事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則、枚方市介護保険条例、枚方市介護保険に関する規則				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称	枚方市介護認定審査会				
事業対象	メインターゲット	介護保険サービスを必要とする要介護者			
	サブターゲット	介護保険サービスを必要とする要介護者家族			
	ターゲットが抱える課題	申請日から介護保険サービスは利用できるが、認定結果が通知されるまで認定に応じた利用限度額がわからない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険サービスが必要な時に利用できるよう、適正な要支援・要介護認定を法令で定められた期限内(30日以内)に行う。				
事業概要	1、申請受付 2、認定調査(新規申請・更新申請・区分変更申請) 3、認定調査依頼 4、主治医意見書作成依頼5、調査票・意見書の点検・データ入力 6、介護認定審査会開催 7、認定結果通知				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						法令で定められた期限内(30日以内)に、公正・公平な要支援・要介護認定を行う。				枚方市介護認定審査会を開催する。			
指標設定	指標説明					期限内に認定を行えた割合 【算出式:期限内に認定を行えた件数/認定申請受付件数×100】				認定申請受付件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100				
	実績					44.50				11,919			
	達成度					45%							
分析					申請件数が前年度比28.3%の減少であったため、前年度比で16.5ポイント改善した。				全体件数は前年度比28.3%の減少だが、認定調査を原則市で行う新規の申請(要支援・要介護区分変更申請含む)は、前年度比5.7%増				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	5.28
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	20.17
特別職非常勤	143.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	46,593	45,056	42,108		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	83,331	91,594	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	129,924	136,650	42,108		
	物件費計	123,035	147,866	88,886	107,749	82%	
	歳出計	252,959	284,516	130,994			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		252,959	284,516	88,886	107,749		

5. 総括的分析

総括的分析 対面調査が原則の訪問調査や、対象者からの問診票提出を基本とする主治医意見書は、コロナ禍にあつて、ともに提出が大幅遅延し、審査判定までの時間がかかってしまった。また、新規申請における訪問調査は市調査員が行う必要があるが、新規申請件数が増加しているため、市調査員による調査票の提出が少し遅れる傾向がある。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	新規申請が増加しているため、市調査員による訪問調査体制を今後見直していく必要がある。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護保険円滑実施特別対策事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	大阪府介護保険低所得者利用者負担対策事業費補助金交付要綱、枚方市低所得利用者負担軽減事業実施要綱				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	障害者総合支援法によるホームヘルプサービス利用において、境界層該当として、定率負担額が0円となる者であって、平成18年4月1日以降に次のいずれかに該当することとなった者。 ①65歳到達以前の概ね1年間に障害者施策によるホームヘルプサービスを利用していた者であって、65歳に到達したことで介護保険の対象となった者。 ②特定疾病によって生じた身体上または精神上的の障害が原因で、要介護または要支援の状態となった40歳から64歳までの者。
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	障害者ホームヘルプサービスで定率負担額が0円であるが、介護保険の対象となることにより、利用者負担額が発生し、経済的な負担となる。
	ターゲットが抱える課題	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険訪問介護の利用にあたって、障害者ホームヘルプサービスと同様に利用者負担額が0円となり、負担が増えることなく、継続したサービスの利用が可能となる。	
事業概要	<利用者負担軽減措置> 障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において境界層該当者(※)として定率負担額が0円となっている者であって、平成18年4月1日以降に一定の要件に該当するものを対象に、利用者負担額を全額免除するもの。※境界層該当者とは、定率負担額を下げるにより生活保護を必要としない状態になる者。	

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		経済的な負担が増えることなく、継続して、介護保険訪問介護サービスを利用することができる。	利用者負担軽減措置を実施する。
指標設定	指標説明	利用者負担額が0円となる割合 【算出式:利用者負担額が0円となった人数/利用者負担軽減措置人数×100】	利用者負担軽減措置人数
	指標種類	単位	単位 人
	指標数値	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	達成度	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	分析	想定通りであった。	想定通りであった。
	指標数値	目標(見込み) 実績	100 0

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	0	0	160	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	0	0	160	
	物件費計	0	0	0	85	—
歳出計		0	0	160		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		0	0	0	85	

5. 総括的分析

総括的分析	平成18年度以降、対象者は無し。
-------	------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	国の通達及び要綱に基づく事務であるため、国の動向を注視しながら取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護保険円滑実施特別対策補助事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業		
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	大阪府介護保険低所得者利用者負担対策事業費補助金交付要綱等						
関係補助金名称	社会福祉法人利用者負担軽減事業費補助金			サンセット	2017(H29)年度	～	2019(R1)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	介護保険サービスを提供する社会福祉法人					
	サブターゲット	社会福祉法人が提供する対象サービスを利用する低所得者					
	ターゲットが抱える課題	介護保険サービスの利用者負担額が経済的な負担となり、必要十分な介護保険サービスが利用できない。					
	ターゲットが抱える課題	社会福祉法人の利用者負担軽減の取り組みを促進する必要がある。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	社会福祉法人が、低所得者の利用者負担額を軽減することで、必要な介護保険サービスの利用につながり、対象者が安心して生活を営むことができる。						
事業概要	<社会福祉法人の利用者負担軽減に対する補助> 介護保険サービス(介護老人福祉施設入所・通所介護・短期入所生活介護・訪問介護)を提供する社会福祉法人が、利用者負担額に対して1/4の軽減を行った場合に、軽減の額から本来の利用料収入額の1%を控除した額の50%を補助する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						介護保険サービスを必要とする人の経済的な負担が軽減され、必要十分な介護保険サービスを利用できる。				介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人が、低所得者の利用者負担額を軽減し、介護保険サービスの利用促進を図る取り組みに対して、補助を行う。			
指標設定	指標説明					介護保険サービス利用者数				補助金交付件数			
	指標種類	単位				単位 人				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)												
	実績					27				27			
	達成度												
分析					想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,749	1,764	1,595		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,749	1,764	1,595		
	物件費計	202	235	176	548	32%	
	歳出計	1,951	1,999	1,771			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	156	182	138	474		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	156	182	138	474		
一般財源		1,795	1,817	38	74		

5. 総括的分析

総括的分析 今年度に補助対象となった3法人に対して、176,000円を補助金として交付した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	国の通達及び要綱に基づく事務であるため、国の動向を注視しながら取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護保険給付事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護保険サービス利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	日常生活において介護や支援を必要とする人が、状態に応じた適切な介護給付サービス、介護予防給付サービスを受けることにより、できる限り自立した生活を送ること。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険サービスを受けるために必要な介護保険の資格、要介護・要支援認定および介護給付に関する情報を保険者が包括的に管理することにより、被保険者が迅速かつ適切に必要な介護保険サービスを受けることができる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○介護保険請求審査・保険者共同処理等業務(大阪府国民健康保険団体連合会に委託実施) ○認定支援事務、保険料・給付事務、高齢者福祉関係事務の業務に関して、電子計算システムを導入し対応 ○システム再構築により、さらなる事務の効率化を図る 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						被保険者が迅速かつ適切に必要な介護保険サービスを受けることができる。				介護保険サービスを受けるために必要な介護保険の資格、要介護・要支援認定および介護給付に関する情報を保険者が包括的に管理する。			
指標設定	指標説明	介護保険給付件数				要介護・要支援認定者数							
	指標種類	単位				単位 件				単位 人			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	実績				1,966,617				21,596			
	達成度												
	分析					想定通りであった。				想定通りであった。			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						介護保険請求審査業務が適正に行われる。				介護保険請求審査業務を委託する。			
指標設定②	指標説明	返戻により更生された件数				請求返戻数							
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	実績											
	達成度												
	分析												

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
		介護保険事務システムが適正に運用される。	介護保険事務システムについて、適宜、改修等を行う。										
指標設定③	指標説明	システム障害発生件数	システム保守点検回数										
	指標種類	単位	単位 回										
	指標数値	減少することが良いとされる指標											
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	0	0				
	実績					0							
	達成度												
	分析												

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.23
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	17,731	17,878	17,784		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	17,731	17,878	17,784		
	物件費計	58,282	53,544	88,604	102,879	86%	
	歳出計	76,013	71,422	106,388			
歳入	国庫支出金	5,742	6,048	6,497	6,682		
	府支出金	3,090	3,254	4,132	4,396		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	12,796	13,478	14,171	14,520		
	歳入計	21,628	22,780	24,800	25,598		
	一般財源	54,385	48,642	63,804	77,281		

5. 総括的分析

総括的分析 介護保険事務システムを導入し、事務の執行及び事務の効率化を図った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	システム改修を行い、効率的な事務の推進及び継続を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護保険特別会計繰出金事務																
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当						
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4									
総合計画体系	基本目標		2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち														
	施策目標		9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち														
	実行計画名																
1. 事務事業の概要																	
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務					
事業期間	2000 (H12) 年度			年度		~					年度まで						
根拠法令等	介護保険法																
関係補助金名称												サンセット		~			
関係附属機関名称																	
事業対象	メインターゲット		課職員														
	サブターゲット																
	ターゲットが抱える課題		介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理を適正に行う必要がある。														
	ターゲットが抱える課題																
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険法に基づく一般会計から介護保険特別会計への繰出金の支出管理が適正に行われている状態。																
事業概要	【市町村の負担割合】 保険給付費総額の12.5% 地域支援事業費のうち総合事業については12.5%、包括的支援事業・任意事業費については19.25% 人件費などの事務経費については100%																
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
指標設定	指標説明		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
			単位		単位		単位				単位						
	指標種類																
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 (見込み)															
	実績																
達成度																	
分析																	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,590	1,603	1,595	
	物件費計	4,364,853	4,733,950	4,977,598	5,347,610	93%
	歳出計	4,366,443	4,735,553	4,979,193		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	4,366,443	4,735,553	4,977,598	5,347,610	

5. 総括的分析

総括的分析	介護保険法に基づく市町村(保険者)の負担金として、一般会計より介護保険特別会計へ繰出しを行う。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適切な処理を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護保険料賦課徴収事務										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第231条、介護保険法、枚方市介護保険条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市に現在住民票がある、または、以前住民票があり市外住所地特例施設に住民票がある65歳以上の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	前年の被保険者・世帯の課税・所得状況で保険料を賦課しているが、様々な理由で被保険者に賦課した保険料が未納となっている。			
	ターゲットが抱える課題	介護保険事業の円滑な実施のため、第1号被験者に係る保険料を賦課・徴収する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護保険料の徴収率100%により被保険者が等しく保険料を負担し、介護保険制度が円滑に実施されている状態。				
事業概要	第1号被保険者に係る保険料を賦課・徴収する。滞納者に対して、督促状・催告書の送付、納付相談の実施、さらに債権回収課との連携を図ることで、滞納額の減少に取り組んでいる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	介護保険第1号被保険者に係る保険料を徴収する。				インプット (活動)	介護保険第1号被保険者に係る保険料を賦課する。			
	指標説明					保険料徴収率(現年度) 【算出式: 収納額 / 調定額 × 100】					賦課対象者数				
指標設定	指標種類	単位				単位				%					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					99.25	99.25	99.25	99.25	112,154					
	実績					99.35				113,403					
	達成度					100%				101%					
	分析					現年徴収率の実績値は前年と比較し0.2ポイント増加となり、徴収率向上を図った。				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)で見込んだ計画値より実績者数が上回り、賦課対象者数が増加した。					
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	滞納に係る保険料徴収率が向上する。				インプット (活動)	督促状・催告書の送付、納付相談の実施など、滞納者への対策に取り組む。			
	指標説明					保険料徴収率(滞納繰越)					督促状・催告書送付件数				
指標設定②	指標種類	単位				単位				%					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					19.32	19.32	19.32	19.32						
	実績					17.90				19,040					
	達成度					93%									
	分析					納付相談を行い催告書を送ることで徴収率向上に努めている。				滞納者に対し督促状、催告書を送ることにより徴収率向上を図る。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	5.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.56
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	46,911	44,126	40,054		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,690	3,502	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	50,601	47,628	40,054		
	物件費計	64,512	57,055	53,872	64,234	84%	
歳出計		115,113	104,683	93,926			
歳入	国庫支出金	9,360	14,597	15,625	19,988		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	6,652	7,309	896	10		
	歳入計	16,012	21,906	16,521	19,998		
一般財源		99,101	82,777	37,351	44,236		

5. 総括的分析

総括的分析	滞納者には督促状、催告書を送付し、分納相談に乗るなど滞納者に働きかけを行い徴収率向上を目指していく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き徴収率向上を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	給付費負担金交付事業											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	介護サービス事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	介護報酬請求事務を正確に行い、介護保険から適正な金額の介護報酬の支払いを受ける。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	介護報酬の請求・支払事務を大阪府国民健康保険団体連合会に委託することにより、事務の効率化につながり、迅速かつ正確な報酬の支払いが可能となる。				
事業概要	○介護保険法で定めるサービスの主なもの 訪問介護・訪問看護・通所介護・通所リハビリテーション・短期入所生活介護・短期入所療養介護・特定施設入居者生活介護・小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・福祉用具貸与・居宅介護支援 等				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						介護サービス事業者に、適正に介護報酬が支払われる。				大阪府国民健康保険団体連合会に対して、介護報酬の請求・支払事務に係る負担金を交付する。			
指標設定	指標説明	介護報酬の支払い額 ※令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする「ひらかた高齢者保健福祉計画21 (第8期) は令和2年度に策定のため、R3目標からR5目標を一とする。				介護報酬の支払い額 ※令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする「ひらかた高齢者保健福祉計画21 (第8期) は令和2年度に策定のため、R3目標からR5目標を一とする。				負担金の交付見込み額 ※令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする「ひらかた高齢者保健福祉計画21 (第8期) は令和2年度に策定のため、R3目標からR5目標を一とする。			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					18,094	-	-	-	18,094	-	-	-
	実績					14,594				14,594			
	達成度					81%				81%			
	分析					令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、想定よりも人数が少なくなった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、想定よりも人数が少なくなった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.81
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.83
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	16,618	16,756	14,435		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	6,442	6,470	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	23,060	23,226	14,435		
	物件費計	27,997,226	29,302,737	30,296,517	31,957,368	95%	
	歳出計	28,020,286	29,325,963	30,310,952			
歳入	国庫支出金	6,053,354	6,338,949	6,729,958	6,942,649		
	府支出金	3,958,887	4,130,919	4,293,395	4,567,229		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	14,494,164	15,176,476	15,029,739	15,573,104		
	歳入計	24,506,405	25,646,344	26,053,092	27,082,982		
	一般財源	3,513,881	3,679,619	4,243,425	4,874,386		

5. 総括的分析

総括的分析	介護サービス利用者が14,594人となり、計画を下回った。 これは、介護予防・日常生活支援事業が平成29年度より本格実施されたことに伴い、要支援認定者の一部が総合事業対象者へ移行したため及び新型コロナウイルス感染拡大防止の影響によるものと考えます。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も介護サービスの適切な実施に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域支援事業任意事業											
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名		9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業		区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	～		年度まで	
根拠法令等	介護保険法						
関係補助金名称						サンセット	～
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	①市民税非課税世帯に属する要介護3から要介護5の認定を受けた在宅の要介護者 ②介護事業所を利用している要支援・要介護認定者とその家族					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	大きな介護用品(オムツ等)を購入し運搬することや頻繁な買い物のための外出が困難、またお世話になっているという思いから多少の不都合や不具合を我慢してしまい大きなトラブルに発展する、病気や老い、孤独など様々な不安を抱えている。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	介護保険事業の運営の安定化が図られることで、家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減や介護サービスの質の向上、生活における不安が軽減され、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができている状態。						
事業概要	①本市に住所を有し、市民税非課税世帯に属する要介護度3から要介護度5の認定を受けた在宅の要介護者を対象に、介護用品を支給する。 ②派遣依頼のあった介護サービス事業者等へ介護相談員が定期的に訪問し、事業者と利用者または家族の橋渡しをすることで、利用者の疑問や不満、不安の解消を図ると同時に事業所のサービスの質の向上を図る。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
ロジックモデル		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	身体的及び経済的負担の軽減が図られる。	対象者に介護用品を支給する。
指標設定	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】	低所得者に対する経済的負担の軽減を図った1人あたりの平均利用金額 ※ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「在宅介護用品支給事業」支給対象者数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	在宅介護用品支給事業の利用者数 ※ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「在宅介護用品支給事業」支給対象者数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位:人	単位:円	単位:人
	目標(見込み)	R2: 510, R3: 510, R4: 510, R5: 510	R2: 5,219, R3: 5,219, R4: 5,219, R5: 5,219	R2: 10,161, R3: 10,161, R4: 10,161, R5: 10,161
	実績	298	4,145	5,987
	達成度	58%	79%	59%
	分析	目標値を大幅に下回っているが、令和元年度実績の0.95倍とほぼ横ばいの状態である。	目標値は、ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)を基に設定。実績は目標値を下回っているが、令和元年度実績の0.99倍とほぼ横ばいの状態である。	目標値は、ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)を基に設定。実績は目標値を大幅に下回っているが、令和元年度実績の1.03倍とほぼ横ばいの状態である。
ロジックモデル②		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。	利用者の疑問や不満、不安の解消を図ると同時に事業所のサービスの質の向上を図る。	派遣依頼のあった介護サービス事業者等へ介護相談員が定期的に訪問する。
指標設定②	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】	介護相談員の延べ派遣回数	介護相談員派遣人数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位:人	単位:回	単位:人
	目標(見込み)	R2: 510, R3: 510, R4: 510, R5: 510	R2: 1,000, R3: 1,000, R4: 1,000, R5: 1,000	R2: 40, R3: 40, R4: 40, R5: 40
	実績	298	0	0
	達成度		0%	0%
	分析	目標値を大幅に下回っているが、令和元年度実績の0.95倍とほぼ横ばいの状態である。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護保険施設への派遣は行わなかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護保険施設への派遣は行わなかった。

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.09
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,566	5,612	1,595		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	223	492	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,789	6,104	1,595		
	物件費計	33,641	30,685	27,783	34,929	80%	
歳出計		39,430	36,789	29,378			
歳入	国庫支出金	12,952	11,814	12,652	12,536		
	府支出金	6,476	5,907	5,808	5,750		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	7,737	7,057	3,230	3,433		
	歳入計	27,165	24,778	21,690	21,719		
一般財源		12,265	12,011	6,093	13,210		

5. 総括的分析

総括的分析	在宅の要介護者731人に対して介護用品の支給を行った。 介護サービス相談員については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護保険施設への派遣は行わなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	介護用品支給事業については、住み慣れた地域で安心して生活出来るよう、引き続き事業を実施する。 新型コロナウイルス感染症の影響により中断している介護サービス相談員派遣事業については、今後の状況を見据え、相談員連絡会や訪問活動の再開をうかがっていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域支援事業任意事業(介護給付等費用適正化事業等)												
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	介護保険法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	介護保険の被保険者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	所得に応じた適正な金額の介護保険料を納付し、自立支援および要介護状態の重度化防止に資する介護保険サービスが受けられること。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切なケアマネジメントによる介護保険サービスが提供されることにより、保険給付が適正化され、介護保険料の上昇が抑制されるとともに、自立支援および要介護状態の重度化防止につながり、被保険者の生活の質が向上する。					
事業概要	①ケアマネジメント活動支援事業 ②要介護認定の適正化 ③ケアプラン点検の実施や給付費明細通知の送付 ④福祉用具に関する講習会及び住宅改修の理由書作成支援 ⑤住宅改修現地調査					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																										
ロジックモデル		介護保険事業の運営の安定化が図られる。	適切に介護保険サービスを提供する。	適切なケアマネジメントに向けた活動を効率的に支援する。																																										
指標設定	指標説明	指摘事項に対する改善率 【算出式:ケアプランの改善が必要な件数/ケアプラン点検の件数×100】	実地調査件数	支援に係る取り組み数																																										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	100	100	100	100	100				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	55	60	65	70	7				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>73</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	回	R2	R3	R4	R5	73							
	単位	%																																												
	R2	R3	R4	R5																																										
	100	100	100	100																																										
	100																																													
単位	件																																													
R2	R3	R4	R5																																											
55	60	65	70																																											
7																																														
単位	回																																													
R2	R3	R4	R5																																											
73																																														
達成度	100%		13%																																											
分析	想定通りであった。		令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実地調査を見合わせた。																																											
分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実地調査を見合わせた。		例年通りであった。(令和元年活動実績67件)																																										
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																																										
ロジックモデル②		介護保険事業の運営の安定化が図られる。	適切に介護保険住宅改修費を支給する。	住宅改修現地調査を実施する。																																										
指標設定②	指標説明	指摘事項に対する改善率 【算出式:ケアプランの改善が必要な件数/ケアプラン点検の件数×100】	支給件数	調査件数																																										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																										
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	100	100	100	100	100				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>1,656</td> <td>1,752</td> <td>1,812</td> <td>1,884</td> </tr> <tr> <td>1,698</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	1,656	1,752	1,812	1,884	1,698				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	24	24	24	24	7			
	単位	%																																												
	R2	R3	R4	R5																																										
	100	100	100	100																																										
	100																																													
単位	件																																													
R2	R3	R4	R5																																											
1,656	1,752	1,812	1,884																																											
1,698																																														
単位	件																																													
R2	R3	R4	R5																																											
24	24	24	24																																											
7																																														
達成度	100%		102%																																											
分析	想定通りであった。		想定通りであった。																																											
分析		令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実地調査を見合わせた。		令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実地調査を見合わせた。																																										

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	4,009	3,988		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	245	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,221	4,009	3,988		
	物件費計	12,754	14,182	11,260	22,008	51%	
	歳出計	16,975	18,191	15,248			
歳入	国庫支出金	4,910	5,460	5,128	5,081		
	府支出金	2,455	2,730	2,354	2,330		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	2,806	3,120	1,296	1,281		
	歳入計	10,171	11,310	8,778	8,692		
	一般財源	6,804	6,881	2,482	13,316		

5. 総括的分析

総括的分析	住宅改修現地調査が7件となり、計画を下回った。 これは、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響によるものと考えます。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後は当該事業が適切に実施されているか、現地調査を継続して実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた高齢者保健福祉計画21推進事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1999(H11)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法、枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会				
事業対象	メインターゲット	高齢者			
	サブターゲット	介護保険サービス事業者			
	ターゲットが抱える課題	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域全体で高齢者を支える仕組みづくりや、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者が個々の心身の状態や生活状況に応じて、いつまでも住み慣れた地域で生きがいをもち、元気で自分らしい生活を送ることができる。				
事業概要	老人福祉法及び介護保険法の規定に基づき、老人福祉計画と介護保険事業計画を「ひらかた高齢者保健福祉計画21」として一体的に策定することで、高齢者福祉事業の供給体制の確保及び介護保険事業に係る保険給付を円滑に実施していく。計画は、3年を1期とした計画期間とし、介護給付等対象サービスや、地域支援事業の必要量の見込みなどについて定めるとともに、介護保険料の改定も盛り込んだ計画とするもの。調査審議は、枚方市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会で行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	「ひらかた高齢者保健福祉計画21」に係る取り組みが確実に推進される。				インプット (活動)	「ひらかた高齢者保健福祉計画21」の改訂および推進に係る事務を実施する。			
	指標説明					計画の進捗状況 【算出式: 保険給付費及び地域支援事業費の実績値/計画値×100】 ((ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)					計画の進捗状況を調査・把握する回数				
指標設定	指標種類	単位				単位	%	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					100	100	100	100	3	3	3	3		
	実績					90.30				4					
	達成度					90%				133%					
分析					令和2年度は、第7期計画期間の3年目であることから、伸び率を考慮した計画値と比べ、比較的低めの実績値となった。				第7期計画の進捗状況を踏まえ、令和3年度～5年度までの第8期計画の策定を行った。R2年度の実績回数は審議会開催回数としている。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	3,207	11,165		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,590	3,207	11,165		
	物件費計	0	6,569	2,024	2,544	80%	
	歳出計	1,590	9,776	13,189			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		1,590	9,776	2,024	2,544		

5. 総括的分析

令和2年度は第7期計画の最終年度であり、施設整備や高齢者人口の伸び率等を考慮して見込んだ計画値と比べ、低めの実績値となった。しかし、65歳以上の人口の増加に伴い、要支援・要介護認定者数は、今後も増加していくことを見込まれることから、第8期では「高齢者が生きがいを持ち、自分らしく暮らすことのできるまちづくり」を基本理念とし、団塊世代の全ての人々が75歳以上に到達する2025年(令和7年)、さらに団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年(令和22年)を見据え、地域共生社会の実現に向けて地域全体で高齢者を支えるシステムの構築を推進していくこととしている。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	第8期計画に基づき、取り組みを進めるとともに、進捗状況の把握を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	軽費老人ホーム補助事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業								
事業期間	2014(H26)年度				年度	~		年度まで					
根拠法令等	枚方市軽費老人ホーム事務費補助金交付要綱												
関係補助金名称	軽費老人ホーム事務費補助金						サンセット	2017(H29)年度		~ 2019(R1)年度			
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	日常生活のサポートを必要とするが、近親者によるサポートが難しい高齢者											
	サブターゲット	軽費老人ホームサービス事業者											
	ターゲットが抱える課題	安心して生活を送るためには、日常生活のサポートを受けることができる施設への入所が必要であるが、利用料の負担等に不安がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	軽費老人ホームを利用する高齢者の利用料負担を軽減することにより、安心して入所し、生活を送ることができる。												
事業概要	枚方市内に老人福祉法第20条の6に規定する軽費老人ホームを設置、運営する社会福祉法人に対し、事務費(サービスの提供に要する費用)補助金を交付する。												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		メインターゲットの軽費老人ホーム利用が増加し、日常生活のサポートを受けることができる。				軽費老人ホームを利用する高齢者の利用料負担が軽減される。				軽費老人ホームを設置、運営する社会福祉法人に対し、事務費(サービスの提供に要する費用)補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	施設に入所したい人が入所できている割合 【算出式:当該年度入所者数/入所を希望する人の数×100】				利用料軽減額の平均月額				補助金交付施設数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				単位 施設			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	90	90	90	90	58,500	58,500	58,500	58,500	8	8	8	8
	実績	90.15				59,006				8			
	達成度	100%				101%				100%			
分析	想定通りであった。				想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	1,595		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,590	1,603	1,595		
	物件費計	202,455	204,604	207,701	210,000	99%	
	歳出計	204,045	206,207	209,296			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		204,045	206,207	207,701	210,000		

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市内に8施設ある軽費老人ホームに適切な補助金を交付することで、高齢者の利用料負担を軽減することができた。コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施していた収入認定にかかる実地検査が中止となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き高齢者が住み慣れた地域で地域で安心して暮らしていけるよう、適切な補助金を交付する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	在日外国人特別給付金支給事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1996(H8)年度	年度	~		年度まで
根拠法令等	枚方市在日外国人等高齢者給付金支給要綱				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	外国人に対する国民年金法の適用前から居住する在日外国人等で、老齢基礎年金等の支給を受けられない高齢者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	老齢基礎年金等の支給を受けられず、生活維持に不安がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	老齢基礎年金等の支給を受けられない在日外国人高齢者等が給付金を受けることで生活維持を図る。				
事業概要	老齢基礎年金等の支給を受けられない在日外国人高齢者等に、年2回給付金を支給する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	老齢基礎年金の支給を受けられない在日外国人高齢者の生活が維持される。	在日外国人特別給付金を支給する。	在日外国人特別給付金に係る支給要件を確認する。	
指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	在日外国人特別給付金の給付額	在日外国人特別給付金を給付した人数	在日外国人特別給付金の年度当初の給付対象者数	
指標設定	単位	円	人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	240,000 240,000 240,000 240,000	2 2 2 2	2 2 2 2
	実績	240,000	2	2
達成度	100%			
分析	想定通りであった。		想定通りであった。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	159	160	160		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	159	160	160		
	物件費計	240	240	240	240	100%	
	歳出計	399	400	400			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	399	400	240	240		

5. 総括的分析

総括的分析	支給要件の確認を行い、2名へ給付金を支給した(年2回)。大正15年4月1日以前生まれの在日外国人等に限られるため、対象者は減少していく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き対象となる在日外国人高齢者の生活維持のために給付金の支給を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	在宅福祉サービス事業											
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名		9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市緊急通報体制整備事業実施要綱、枚方市高齢者日常生活用具給付等事業実施要綱等					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	①概ね65歳以上のひとり暮らしの方、昼間独居の方等 ②概ね65歳以上のひとり暮らしの方で安否の確認を必要とする方 ③心身の機能低下により、火災防止の必要な概ね65歳以上のひとり暮らしの方 ④在宅で介護を受けている概ね65歳以上の方(介護度に応じた条件あり)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	家庭内で病気や事故等の緊急事態が発生した場合に助けを求める人がいない、また、心身機能の変化の不安やささいな困り事の相談先がない、心身機能の低下により火災発生への恐れや理美容院へ通うことができない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	住み慣れた地域で適切な支援を受けることができ、誰もが安心して生活することができること。					
事業概要	①緊急通報装置の貸与 ②電話による安否確認と相談 ③日常生活用品(電磁調理器)の支給 ④理美容店へ行くことが困難な高齢者に在宅での理美容サービスを提供					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				アウトプット (活動結果)	高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。(緊急通報装置貸与)				インプット (活動)	高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(緊急通報装置貸与)			
	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				消防署の通報のうち正報の割合 【算出式:正報件数/通報件数×100】				緊急通報装置の利用人数(当該年度末)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	25	30	35	40	3,000	3,000	3,000	3,000		
	実績	2,578				23				2,860					
	達成度	94%				92%				95%					
	分析	概ね想定通りであった。				概ね想定通りであった。				固定電話の利用者が減少していることに伴い、H30年度以降減少傾向にある。					
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				アウトプット (活動結果)	高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。(電話による安否確認)				インプット (活動)	高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(電話による安否確認)			
	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				電話による安否確認実施回数				電話による安否確認サービス受給者数					
指標設定②	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	1,080	1,080	1,080	1,260	90	90	90	90		
	実績	2,578				834				64					
	達成度	94%				77%				71%					
	分析	概ね想定通りであった。				想定を下回った				想定を下回った					

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。(日常生活用品(電磁調理器)の支給または貸与)				高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(日常生活用品(電磁調理器)の支給または貸与)			
指標設定 ③	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				日常生活用品の支給または貸与累計数(平成30年度以降)				日常生活用品の支給または貸与数			
		単位		人		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	22	32	42	52	10	10	10	10
	実績	2,578				24				8			
	達成度	94%				109%				80%			
分析	概ね想定通りであった。				概ね想定通りであった。				概ね想定通りであった。				
ロジックモデル④		住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができる。				高齢者が、住み慣れた地域で適切な支援を受けることができる。(理美容サービス)				高齢者の在宅生活を支援するためのサービスを実施する。(理美容サービス)			
指標設定 ④	指標説明	利用者のうち、前年度から継続して利用している人数 【算出式:前年度からの継続利用者数】				理美容サービス受給者数				理美容サービス実施事業者数			
		単位		人		単位		人		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,750	2,750	2,750	2,750	100	100	100	100	110	110	110	110
	実績	2,578				100				107			
	達成度	94%				100%				97%			
分析	概ね想定通りであった。				概ね想定通りであった。				想定を下回った。年々、実施事業者数は減少することが予想される。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,190	8,258	3,988		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,190	8,258	3,988		
	物件費計	47,102	45,468	45,215	62,053	73%	
	歳出計	55,292	53,726	49,203			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	431	420	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	46,088	44,499	44,302	60,773		
	歳入計	46,519	44,919	44,302	60,773		
一般財源		8,773	8,807	913	1,280		

5. 総括的分析

総括的分析
 緊急通報装置の貸与(設置台数) 2860人(うち新規申請者数:290人)
 電話による安否確認と相談(登録数) 64人(うち新規申請者数:0人)
 日常生活用品(電磁調理器)の新規申請数 8人
 理美容サービス登録者数 169人、総利用回数 280回

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	社会状況の変化に伴うニーズを把握しながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、引き続き事業を継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	高齢者福祉タクシー基本料金補助事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名		9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1991(H3)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市福祉タクシー基本料助成事業実施要綱					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	要介護認定を受け、在宅で介護を受けている65歳以上の寝たきり高齢者で、生計中心者の市民税所得割額が12万円以下の世帯に属する人				
	サブターゲット	高齢者福祉タクシー登録事業者				
	ターゲットが抱える課題	寝たきりなどで外出が困難であり、通院等外出時の交通費の経済的負担がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的負担の軽減や日常生活の利便を図ることで、多くの高齢者が在宅生活を継続することができる。					
事業概要	寝たきりなどで外出が困難な低所得高齢者にタクシー基本料金(2回/月)を助成する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		低所得高齢者が継続してタクシー基本料金の助成を受けることで、経済的負担の軽減や日常生活の利便を図ることができる。				通院等外出の機会が増える。				対象者に、タクシー基本料金を助成する。			
指標説明		継続利用者数の割合 【算出式:前年度からの継続利用者数/利用者数×100】				福祉タクシー基本料助成利用券の延べ利用回数				福祉タクシー基本料助成利用券の利用者数			
		単位		%		単位		回		単位		人	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	50	50	50	50	1,230	1,230	1,230	1,230	126	126	126	126
	実績	59				941				91			
	達成度	118%				77%				72%			
	分析	想定通りであった。				想定よりも利用回数が少なかった。				想定よりも利用者数が少なかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,590	1,603	1,595	
	物件費計	869	783	651	1,017	64%
	歳出計	2,459	2,386	2,246		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		2,459	2,386	651	1,017	

5. 総括的分析

総括的分析	継続利用者の割合については想定通りであったが、利用回数・利用者数については新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者の外出の機会が減少したため、目標を下回った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き寝たきりなどで外出困難な高齢者の経済的負担の軽減及び日常生活の利便等を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公的介護施設等整備補助事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業		
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	枚方市公的介護施設等整備補助金交付要綱						
関係補助金名称	公的介護施設等整備補助金			サンセット	2017(H29)年度	～	2019(R1)年度
関係附属機関名称	枚方市介護保険施設等整備審議会						
事業対象	メインターゲット	公的介護施設等の整備事業者					
	サブターゲット	介護保険施設等の入所・利用者					
	ターゲットが抱える課題	施設整備費用が負担となり、施設入所・利用を希望する高齢者のニーズに応えることができない。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく施設整備を促進することで、高齢者が安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができている。						
事業概要	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく整備を行う事業者に対し、補助金を交付することにより、高齢者の安全・安心な生活を確保するための公的介護施設等の基盤整備を行うもの。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)			
	公的介護施設等を利用する高齢者が、安全・安心に、必要な施設サービスを受けることができる。	公的介護施設等の整備が促進される。(介護施設の基盤整備)	公的介護施設等の整備事業者に対し、公的介護施設の基盤整備を行うための補助金を交付する。(介護施設の基盤整備)			
指標設定	指標説明	当該整備を行った施設の利用率 【算出式:当該整備を行った施設の利用者数/当該整備を行った施設の利用定員増加数×100】	公的介護施設等整備補助金の交付により整備を行った施設の利用定員増加数 (ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)	ひらかた高齢者保健福祉計画21に基づく公的介護施設等整備補助金の交付事業者数 (ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)		
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標		
	指標数値	単位 %	単位 人	単位 事業者		
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5		
	実績	100 100 100 100	192 192 192 192	11 11 11 11		
	達成度	7 7	136	7		
分析	大半の施設が翌年度開設(利用開始)になったため、目標を大きく下回った。	整備を行う施設の公募を行ったが応募がなく、整備ができなかったため、目標を下回った。	公募を行ったが応募がなく、目標を下回った。			
達成度	7%		71%		64%	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	8.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,553	6,414	4,785		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,553	6,414	4,785		
	物件費計	7,603	73,096	603,487	220,887	273%	
	歳出計	15,156	79,510	608,272			
歳入	国庫支出金	0	0	0	25,641		
	府支出金	7,603	73,096	386,477	181,415		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	209,000	12,800		
	その他	0	929	1,010	693		
	歳入計	7,603	74,025	596,487	220,549		
	一般財源	7,553	5,485	7,000	338		

5. 総括的分析

総括的分析	ひらかた高齢者保健福祉計画(第7期)に基づき、地域密着型特別養護老人ホーム等の整備を行う事業者のうち、令和元年度までに未選定となっていた介護保険サービスについて再公募を行い、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備事業候補者を選定した。一方、応募がなかった介護保険サービスもあり、目標を下回ることとなった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第8期)に基づき、地域密着型サービス等の整備を行う事業者を公募し、介護施設等の基盤整備を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市立くずは北デイサービスセンター維持管理事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	2015(H27)年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	市立くずは北デイサービスセンター利用者					
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族					
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等が実施され、市立くずは北デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。						
事業概要	平成18年3月まで枚方市立くずは北デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						市立くずは北デイサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標説明						修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数。			
指標種類		単位				単位 %				単位 件			
指標設定		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
指標数値		目標 (見込み)				100以内	100以内	100以内	100以内	23	23	23	23
		実績				90				13			
達成度						110%				143%			
分析						当初予算で要求していなかった浴室タイルの修繕が発生したが、概ね想定どおりであった。				想定を下回った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	1,595		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,590	1,603	1,595		
	物件費計	23,490	231	23,568	25,795	91%	
	歳出計	25,080	1,834	25,163			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	10,500	10,899		
	その他	0	0	8,647	10,966		
	歳入計	0	0	19,147	21,865		
	一般財源	25,080	1,834	4,421	3,930		

5. 総括的分析

総括的分析	修繕等に係る経費で積算金額が、30万円以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が2件、30万円未満の事案は指定管理者負担で3件、他に指定管理者が8件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市立デイサービスセンター維持管理事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1997(H9)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立デイサービスセンター利用者			
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族			
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進が図られ、在宅にて介護を継続することができる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等が実施され、枚方市立デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで枚方市立デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						市立デイサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	28	28	28	28
	実績					2				23			
	達成度					198%				118%			
分析					当初予算で想定していかなかった屋上床面の修繕が発生した。空調設備等改修工事は予定どおり行った。しかし令和2年度に実施予定としていた受変電設備更新工事が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度に延期となり低い数値となった。				想定どおりであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,193	1,203	1,595		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,193	1,203	1,595		
	物件費計	185	12,293	2,968	3,831	77%	
	歳出計	1,378	13,496	4,563			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	215	879	1,115		
	歳入計	0	215	879	1,115		
一般財源		1,378	13,281	2,089	2,716		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設内での作業が困難となり、令和3年度に受変電設備更新工事を延期した。修繕等に係る経費で積算金額が30万円以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が2件、30万円未満の事案は指定管理者負担で7件、他に指定管理者が、14件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市立特別養護老人ホーム維持管理事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1993(H5)年度	年度	~		年度まで
根拠法令等	枚方市立特別養護老人ホーム条例、介護保険法、老人福祉法				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立特別養護老人ホーム利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	利用者の心身の健康と福祉の増進が図られ、また安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、枚方市立特別養護老人ホーム利用者が心身の健康と福祉の増進が図られている状態。				
事業概要	平成18年3月まで市立特別養護老人ホームの運営及び維持管理業務を社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会が管理運営を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	市立特別養護老人ホームが適正に維持管理されている。				インプット (活動)	必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標種類	単位				単位				%					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	23	23	23	23		
	実績					2				23					
	達成度					198%				100%					
分析					当初予算で想定していかなかった屋上床面の修繕が発生した。空調設備等改修工事は予定どおり行った。しかし令和2年度に実施予定していた受変電設備更新工事が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度に延期となり低い数値となった。				想定どおりであった。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,193	1,203	1,595		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,193	1,203	1,595		
	物件費計	185	12,293	2,968	3,831	77%	
	歳出計	1,378	13,496	4,563			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	215	879	1,115		
	歳入計	0	215	879	1,115		
一般財源		1,378	13,281	2,089	2,716		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設内での作業が困難となり、令和3年度へ受変電設備更新工事を延期した。修繕等に係る経費で積算金額が30万円以上の事案(保全計画含む)は市負担で修繕等が2件、30万円未満の事案は指定管理者負担で7件,他に指定管理者が、14件の建築設備等保守管理業務保守点検等を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合福祉会館デイサービスセンター維持管理事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	1998(H10)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	枚方市デイサービスセンター条例、介護保険法、老人福祉法											
関係補助金名称	サンセット											
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	総合福祉会館デイサービスセンター利用者										
	サブターゲット	在宅で介護をしている家族										
	ターゲットが抱える課題	安全に利用できる施設への通所により、心身の健康と福祉の増進を図れ、在宅にて介護を継続することができる。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施され、総合福祉会館デイサービスセンター利用者の心身の健康と福祉の増進が図られている状態。											
事業概要	平成18年3月まで枚方市立総合福祉会館デイサービスセンターの運営及び維持管理業務を社会福祉法人四天王寺福祉事業団に委託していた。平成18年4月からは、指定管理者制度を導入し、指定管理者として社会福祉法人四天王寺福祉事業団が管理運営を行っている。											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						総合福祉会館デイサービスセンターが適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	目標 (見込み)				100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2
	指標数値	実績				0				1			
達成度					200%				150%				
分析					概ね想定通りであった。				概ね想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,590	1,603	1,595	
	物件費計	6,804	2,372	495	0	—
	歳出計	8,394	3,975	2,090		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	8,394	3,975	495	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>修繕等に係る経費で積算金額が、1件30万円以上の事案(保全計画含む)は市が負担し、1件30万円未満の事案は指定管理者が負担することになっているが、令和2年度においては修繕等はなかった。</p> <p>総合福祉会館は健康福祉総務課が所管で協定している指定管理者が、総合福祉会館の建築設備等保守管理業務を行っているが、消防設備点検については、長寿・介護保険担当が所管で協定している総合福祉会館デイサービスセンターの指定管理者も按分で負担している。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	高齢者お出かけ推進事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2019(H31)年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	～
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	高齢者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける意欲・体力がない。				
	ターゲットが抱える課題	高齢者が出かける場所、仲間をつくる場がない。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者が外出する機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。					
事業概要	65歳以上の市民を対象に『高齢者お出かけ推進手帳』を配付し、高齢者の外出支援につながる事業等に参加した市民に、手帳に貼付する「高齢者専用ポイント」を付与する。手帳に貯めた「高齢者専用ポイント」は、「ひらかたポイント」やタクシークーポン(大阪タクシー共通乗車券)へ交換できるほか、老人福祉センター(総合福祉センター・楽寿荘)の使用料の割引券として活用できる高齢者お出かけ推進チケットに交換できる。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		高齢者が出かける機会が増え、健康づくりや介護予防につながる。				高齢者専用ポイントを貯めるため、外出支援につながる事業等に参加する高齢者が増加する。				65歳以上の市民を対象に、「高齢者お出かけ推進手帳」を配付する。			
指標設定	指標説明	高齢者お出かけ推進事業の延べ参加者数				高齢者お出かけ推進事業の付与ポイント数				「高齢者お出かけ推進手帳」の配付部数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	101,000	101,000	101,000	101,000	1,152,000	1,152,000	1,152,000	1,152,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績	2,557				82,860				2,894			
	達成度	3%				7%				29%			
分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの対象事業が中止となり、参加者数も大幅に減った。				令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの対象事業が中止となり、ポイント付与数も大幅に減った。				令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの対象事業が中止となり、配布部数も大幅に減った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	3,207	1,595	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	3,207	1,595	
	物件費計	—	1,280	1,575	3,561	44%
	歳出計	—	4,487	3,170		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	4,487	1,575	3,561	

5. 総括的分析

令和元年度から事業を開始し、65歳以上の方を対象に「高齢者お出かけ推進手帳」を配布し、介護予防のイベントや各種講座等への参加に対して高齢者専用ポイントを付与。令和2年2月から、高齢者専用ポイントの付与対象事業として「高齢者居場所」を追加。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、多くの対象事業を中止・延期することとなった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和2年度の対象事業中止等に伴い、令和2年度高齢者お出かけ推進手帳の配布が少なかったため、令和3年度についても引き続き令和2年度の手帳を使えることとした。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	シルバー人材センター事業費補助事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	1980(S55)年度		年度	~	年度まで		
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則						
関係補助金名称	高年齢者能力活用推進事業補助金			サンセット	2019(R1)年度	~	2021(R3)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	枚方市シルバー人材センター					
	サブターゲット	枚方市シルバー人材センターの会員					
	ターゲットが抱える課題	シルバー人材センター登録会員の確保、会員の就業率の向上が必要である。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	就業の場を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加が促進される。						
事業概要	枚方市補助金等交付規則に基づき補助金を交付する。センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援していくため、シルバー人材センターの自主事業に対する経費の一部を補助する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		高齢者の生きがいづくりや社会参加が促進する。				枚方市シルバー人材センターの取り組みが充実する。				枚方市シルバー人材センターの取り組みを支援するため、補助金を交付する。			
指標説明		枚方市シルバー人材センターの各年度末登録会員数				会員の就業率 【算出式: 就業会員数/会員数×100】				補助金交付対象事業数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,300	2,350	2,400	2,450	69.50	69.60	69.70	69.80	2	2	2	2
	実績	1,954				76.90				2			
達成度		85%				111%				100%			
分析		目標値は、シルバー人材センターの中期計画を基に設定。定年の引き上げや継続雇用制度の導入等、働く意欲のある高齢者が継続して働くことが可能となったことから、実績が下回ったと考える。				新型コロナウイルス感染症による清掃作業(学校、マンション、商業施設など)の需要が増え、新たな受注に繋がったことから、実績が上回ったと考えられる。				対象事業:①子育て世帯家事支援事業②幅広い世代の居場所づくり事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が実施出来なかったため、事業再開に向けた感染予防対策等に係る経費補助となっている。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,590	1,603	2,393		
	物件費計	11,236	5,065	4,147	7,980	52%	
	歳出計	12,826	6,668	6,540			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		12,826	6,668	4,147	7,980		

5. 総括的分析

総括的分析	「補助金の見直しに関する方針」に基づく団体運営補助の廃止により、令和元年度から上記2事業に係る事業費補助となった。高齢者の知識や技能を活かしたこれらの事業を通して、センターの設置目的である高齢者が働くことを通じた生きがいづくり、さらなる地域社会の活性化への貢献につなげていくことを効果的に支援していくため、経費の一部について補助を行うものである。令和元年度上半期の準備期間を経て、同年秋以降令和2年度にかけて本格実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により事業を中止せざるを得ない状況となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き補助事業の進捗管理を行うとともに、適宜効果検証を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	楽寿荘維持管理事業											
測定年度	2020 (R2) 年度				部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	2000 (H12) 年度		年度	~	年度まで								
根拠法令等	老人福祉法第20条の7、枚方市立老人福祉センター楽寿荘条例												
関係補助金名称												サンセット	~
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	楽寿荘利用者											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	楽寿荘を利用する利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	楽寿荘利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。												
事業概要	<p>【施設概要】老人福祉法第20条の7に規定する老人福祉センター。 施設を市民活動の場として提供するとともに、主に高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等の事業を行う。 施設の管理は、直営で実施しており、受付業務、屋外清掃等業務はシルバー人材センターに委託。利用時間は、午前10時から午後8時30分(毎週木曜日及び年末年始は休館)。老朽化による改修工事のため、平成22年8月31日より一時休館。23年4月1日にリニューアルオープン。</p>												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
					楽寿荘が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	指標説明				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合 【決算額: 決算額/当初予算額×100】				保守点検や修繕、補修工事の件数							
	指標種類				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標							
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)								100以内	100以内	100以内	100以内	13	11	11	12
	実績								24.59				8			
達成度				175%				138%								
分析				修繕料: 当初予算500,000円、決算123,200円 工事請負費: 当初予算1,000円、決算0円				委託による保守点検6件、小規模修繕2件								

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,102	4,417	8,073		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,102	4,417	8,073		
	物件費計	13,485	15,339	12,996	15,201	85%	
歳出計		21,587	19,756	21,069			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	2,176	1,905	615	2,147		
	市債	0	0	0	0		
	その他	525	313	557	698		
	歳入計	2,701	2,218	1,172	2,845		
一般財源		18,886	17,538	11,824	12,356		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>楽寿荘教養講座(ハーモニカ、オカリナ、書道など12講座)を実施した。令和2年度の年間延べ利用者数は9,224人で、前年から減少した。洋式トイレと擁壁の修繕、多目的ホールの空調機及び健康ルームのマッサージチェアの入れ替えを行った。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月20日～5月19日は施設を休所するとともに、4月1日～6月14日及び12月7日～2月28日は貸室利用を中止した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、利用者が、安全・快適に施設を利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施するとともに、施設の一層の利用促進に向けた取組みを検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	敬老事業										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1968 (S43) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	高齢者
	サブターゲット	高齢者福祉に関心と理解が少ない市民
	ターゲットが抱える課題	高齢者向けのイベントが少なく、日ごろの楽しみや生きがいを創出する機会が必要。
	ターゲットが抱える課題	高齢者を敬愛し、長寿を祝うことにより、市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深める機会が必要。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が広く高齢者福祉に関心と理解を深めるとともに、高齢者自ら、生きがいをもって生活できるよう高い意欲を持っている状態。
---------------------------	---

事業概要	<p>毎年9月を高齢者保健福祉月間として啓発イベント等を開催する。</p> <p>①「敬老のつどい」を開催 一部: 高齢社会憲章朗読、優良老人クラブ・優良ひとり暮らし老人会の表彰、高齢者保健福祉月間啓発標語の特選作品の発表と表彰、「敬老の日」にちなんだ小学生の作文発表等 二部: 老人クラブカラオケショー、プロによるアトラクション(アトラクションは委託)</p> <p>②長寿祝品の配付 満年齢で米寿(88歳)の方に長寿をお祝いする記念品を届ける。</p> <p>③最高齢者、100歳高齢者祝福訪問 最高齢者と100歳を迎える方を市長または市の理事者が訪問し、祝い状及び祝品を贈呈。</p> <p>④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集 市民に呼びかけて標語を募集し特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表</p>
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。	多くの市民が高齢者福祉に関心を持つ。	「敬老のつどい」を開催する。

指標設定	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式:「満足」と回答した人数/回答人数×100】	「敬老のつどい」の参加者数	「敬老のつどい」など敬老事業の広報等による周知回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回
	目標(見込み)	R2: 93, R3: 93, R4: 93, R5: 93	R2: 320, R3: 320, R4: 320, R5: 320	R2: 13, R3: 13, R4: 13, R5: 13
	実績	R2: 0, R3: , R4: , R5:	R2: 0, R3: , R4: , R5:	R2: 13, R3: , R4: , R5:
	達成度	0%	0%	100%
	分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老のつどいを中止したため、満足度を図ることができなかった。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老のつどいを中止した。	想定通りであった。

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。	高齢者自らの生活の向上に努める意欲が高まる。	満年齢で米寿(88歳)の方に長寿をお祝いする記念品を届ける。また、最高齢者と100歳を迎える方を市長または市の理事者が訪問し、祝い状及び祝品を贈呈する。

指標設定②	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式:「満足」と回答した人数/回答人数×100】	米寿祝品の配付人数及び、最高齢者と100歳高齢者祝福訪問の人数	「米寿祝品の配付」及び「100歳高齢者祝福訪問」など敬老事業の広報等による周知回数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回
	目標(見込み)	R2: 93, R3: 93, R4: 93, R5: 93	R2: 2,059, R3: 2,291, R4: 2,597, R5: 3,050	R2: 13, R3: 13, R4: 13, R5: 13
	実績	R2: 0, R3: , R4: , R5:	R2: 1,912, R3: , R4: , R5:	R2: 13, R3: , R4: , R5:
	達成度	0%	93%	100%
	分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老のつどいを中止したため、満足度を図ることができなかった。	見込み段階から対象者が(死亡や転出により)減少した。	想定通りであった。

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民の高齢者福祉に対する関心と理解、また、高齢者の生きがいや意欲の向上が図られる。				応募作品の中から特選・入選作品を決定し、賞状・記念品を贈呈するとともに、敬老のつどいで発表する。				高齢者保健福祉月間啓発標語を募集する。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定 ③	指標説明	「敬老のつどい」参加者の満足度 【算出式:「満足」と回答した人数/回答人数×100】				高齢者保健福祉月間啓発標語の応募件数				「高齢者保健福祉月間啓発標語の募集」など敬老事業の広報等による周知回数			
		単位		%		単位		件		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	93	93	93	93	36	36	36	36	13	13	13	13
	実績	0				17				13			
	達成度	0%				47%				100%			
分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、敬老のつどいを中止したため、満足度を図ることができなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで行っていた周知の一部ができなかったため、件数が減少したと考えられる。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,361	6,414	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	6,361	6,414	3,190		
	物件費計	3,531	3,945	2,299	4,930	47%	
	歳出計	9,892	10,359	5,489			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		9,892	10,359	2,299	4,930		

5. 総括的分析

総括的分析	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「敬老のつどい」は中止した。最高齢者および満100歳の高齢者訪問については、主に郵送により実施。</p> <p>①「敬老のつどい」中止</p> <p>②長寿祝の配付 満年齢で米寿(88歳)の方1,808人に記念品(飯碗)を送付。</p> <p>③最高齢者、100歳高齢者祝福訪問 最高齢者(男女)と100歳を迎える方104人にお祝い状(最高齢者は花束)と記念品を贈呈。</p> <p>④高齢者保健福祉月間啓発標語の募集 17作品の応募があり、特選1作品、入選2作品を選定。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度についても新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より「敬老のつどい」は表彰式のみの実施。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市シルバー作業所維持管理事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性	内部事務			区分	一般内部管理事務					
事業期間	1993(H5)年度			年度	~			年度まで						
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称												サンセット	~	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方市シルバー作業所利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		枚方市シルバー作業所の利用者が、安全・快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市シルバー作業所利用者が、施設を安心して安全快適に利用することができ、心身の健康と福祉の増進を図っている。													
事業概要	【施設概要】高齢者に就業の拠点を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに、その能力をいかした活力ある地域社会作りに寄与することを目的とした施設。 施設設備の維持管理のため、各種保守点検業務等を委託により実施している。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					枚方シルバー作業所が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】		保守点検や修繕、補修工事の件数。							
	指標種類		単位		単位		%		単位		件			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)						100以内	100以内	100以内	100以内	12	17	11	11
	実績						66.30				10			
	達成度						134%				117%			
分析						【実績】外壁雨漏り改修工事1件。				【実績】保守点検等委託9件、外壁雨漏り改修工事1件の合計10件。 令和2年度は小規模修繕等の実績なし。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,180	3,207	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,180	3,207	2,393		
	物件費計	4,655	5,908	14,382	19,629	73%	
	歳出計	7,835	9,115	16,775			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	439	462	459		
	歳入計	0	439	462	459		
一般財源		7,835	8,676	13,920	19,170		

5. 総括的分析

総括的分析	施設の老朽化に伴う修繕箇所の発生、また自然災害等による損壊など、近年小規模修繕の実績が多かったものの、令和2年度は大きな自然災害がなかったこと等から、特段修繕の必要箇所は見受けられず、事業費を抑制できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き施設整備の維持管理を適正に行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	老人クラブ育成補助事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名		9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	1963(S38)年度				年度	～								年度まで
根拠法令等	枚方市老人クラブ等活動事業等補助金交付要綱													
関係補助金名称	老人クラブ活動補助金、老人クラブ連合会事務費補助							サンセット	2017(H29)年度		～	2019(R1)年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会											
	サブターゲット		各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会に加入している高齢者											
	ターゲットが抱える課題		老人クラブ会員数が減少している。住み慣れた地域でいきいきと暮らし、人とのつながりをもつことができる場の確保が必要。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの高齢者が老人クラブ等の社会奉仕や健康増進等の諸活動に参加することで、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができている。													
事業概要	各単位老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会からの活動補助金申請等、老人クラブ連合会事務経費補助金申請等を受け、活動予定月数、会員数等に応じた補助金を交付し、年度末に各実績報告を受け、精算等を行う。また、国に対し補助金申請を行い補助金交付を受ける。													

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		多くの高齢者が、住み慣れた地域で健全で豊かな生活を送ることができる。				老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会が、社会奉仕や健康増進等の諸活動を実施する。				老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	補助金交付申請時の老人クラブ会員数				老人クラブ等が行った社会奉仕や健康増進等の活動月数				補助金の交付件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	12,621	12,621	12,621	12,621	2,604	2,604	2,604	2,604	217	217	217	217
	実績	11,670				2,554				213			
	達成度	92%				98%				98%			
分析	高齢者人口の増加と対比すると減少傾向にある。				前年度より、補助金交付申請を行った老人クラブが減少したことによる影響。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を中止した月数も含む数値となる。				補助金の交付件数は微減となる。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	2,385	2,405	2,393	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人員費計	2,385	2,405	2,393	
	物件費計	23,483	22,933	21,168	24,308	87%
	歳出計	25,868	25,338	23,561		
歳入	国庫支出金	7,301	7,123	6,944	7,581	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	7,301	7,123	6,944	7,581	
	一般財源	18,567	18,215	14,224	16,727	

5. 総括的分析

総括的分析	高齢者人口の増加に対比すると会員数は減少している。
-------	---------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、老人クラブ、老人クラブ連合会、ひとり暮らし老人会連絡会の取り組みを支援するため、補助金を交付する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	福祉バス運行委託事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		10.障害者が自立し、社会参加ができるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	リフト付きバス利用要綱					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	福祉バスを利用する団体に加入している障害者や高齢者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	外出するための費用が負担となり、障害者や高齢者の外出する手段、機会が減少している。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	障害者や高齢者が福祉バスを利用することで、外出や社会参加の機会が増え、健やかに生きがいを持って暮らすことができる。					
事業概要	総合福祉センターの送迎に供しない日を、福祉バスとして利用している。 1. 福祉バス運行日 金曜日、日曜日 2. 送迎バス運行日 火曜日、木曜日					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		障害者や高齢者の外出や社会参加が増える。				福祉バスが運行される。				福祉バスの運行を委託する。			
指標設定	指標説明	福祉バスの延べ利用者数				福祉バスの利用実績件数				福祉バスの運行可能日数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,340	2,340	2,340	2,340	90	90	90	90	100	100	100	100
	実績	0				0				18			
	達成度	0%				0%				18%			
分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほぼ全ての期間において、利用を中止しており、利用実績はなかった。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほぼ全ての期間において、利用を中止しており、利用実績はなかった。				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほぼ全ての期間において、利用を中止していた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人件費計	795	802	798		
	物件費計	10,401	10,497	13,585	14,300	95%
	歳出計	11,196	11,299	14,383		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	11,196	11,299	13,585	14,300	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は利用できる日を週4日から週2日に減らした。利用については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほぼ全ての期間において中止していた。令和2年6月15日から8月20日の期間においては、利用受付は行っていたが、利用はなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、障害者や高齢者へ外出の機会を提供するため事業は継続するが、バスの老朽化や今後の運行状況等を踏まえ、今後の方向性について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当運営事務										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 長寿・介護保険担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	9. 施策体系外									
	施策目標	99. 施策体系外									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	2020 (R2) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	課職員				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	長寿・介護保険担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。					
事業概要	課の運営業務					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.78
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	30,146	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	30,146	
	物件費計	—	—	956,327	1,006,163	95%
歳出計		—	—	986,473		
歳入	国庫支出金	—	—	33,333	33,333	
	府支出金	—	—	11,817	11,827	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	828,028	828,033	
	歳入計	—	—	873,178	873,193	
一般財源		—	—	83,149	132,970	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度においては、「新しい生活様式」に係る高齢者のICT利用に関する調査や、新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス提供体制確保事業補助金及び、高齢者・障害者施設の従事者への定期PCR検査等の実施などに係る事務が発生した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き課の所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。